いずもざき

議会だより

第85号

2014
平成26年10月21日

実りの秋を体験

９月定例会

もくじ

・９月定例会、７月臨時会 …………………… 2
・平成25年度決算認定 ……………………… 4
・決算審査特別委員会 ……………………… 6
・予算審査特別委員会 ……………………… 7
・全員協議会 ……………………………… 8
・一般質問（３人が町政をただす） ……… 10
・あの質問はどうなった ………………… 13
・町民の声 ………………………………… 14

発行／新潟県出雲崎町議会　責任者／議長 山﨑信義　編集／議会報特別委員会　題字／南波秋海
〒949-4392（専用）新潟県三島郡出雲崎町大字川西140番地　TEL.0258（78）3112　FAX.0258（41）7322
HP　http://www.town.izumozaki.niigata.jp

9月定例会

一般会計補正 3379万円追加

＊９月定例会で決まった補正予算＊

会計		補正額	補正後の予算額
一般会計（第３号）		3379万円	33億9052万円
特別会計	国民健康保険事業（第１号）	2323万円	6億1423万円
	介護保険事業（第１号）	2926万円	7億6626万円
	簡易水道事業（第２号）	1000万円	3億2769万円

一般会計補正予算（第３号）

（△印は減額）

主な歳入

・放課後児童健全育成事業費補助金減… △137万円
・青年就農支援事業補助金……………… 150万円
・農地台帳システム整備事業補助金…… 421万円
・物品売払い収入追加（除雪車）……… 235万円
・観光費寄附金…………………………… 500万円
・前年度繰越金追加……………………… 1787万円

主な歳出

・ホームページリニューアル委託料……… 702万円
・車輪取外し型車椅子（３台）…………… 115万円
・青年就農支援事業補助金………………… 150万円
・農地台帳システム改修業務委託料……… 421万円
・気象予報委託料追加……………………… 97万円

7月臨時会

（会期 7月29日 1日間）

臨時会では平成26年度一般会計補正予算（第２号）及び、工事請負契約の締結２件が提出され慎重審議の結果いずれも原案のとおり、全会一致で可決しました。

契約締結

子育て支援型 町営集合住宅建設工事			
金額	１億8716万円	相手方	ダイエープロビス株式会社
大釜谷浄水場整備（機械・電気設備）工事			
金額	8424万円	相手方	昱（あきら）工業株式会社

一般会計補正予算 550 万円追加

主な歳入

・県単林道工事補助金追加… 180万円
・天領の里運営費繰入金追加… 17万円
・前年度繰越金追加…………352万円

主な歳出

・県単林道工事追加………… 400万円
（船橋田中線）
・天領の里揚物用フライヤー… 17万円
・中学校給食室給水給湯配管改修工事
………… 102万円

９月定例会

会期　９月８日～12日
（５日間）

定例会では、平成25年度一般会計・特別会計決算、平成26年度一般会計・特別会計補正予算及び、条例改正、人事案件等議案18件が提出され慎重審議の結果、いずれも原案のとおり全会一致で可決、認定、同意しました。

町ホームページリニューアル　702万円

27年度４月からリニューアル

車輪取外し型車椅子　115万円

町内福祉施設で使用

局地的な災害に備え 気象予報委託料追加　97万円

豪雨災害現場（町道乙茂久田線）

可決した条例改正（主なもの）

○町税条例の一部改正

税率の改正によるもので、法人町民税における法人税割を2・6%引下げ。

軽自動車税は原付、軽二輪、小型二輪、自家用乗用、農耕用小型特殊で1・5倍（最低2000円）、その他は約1・25倍に引上げ。三輪以上の軽自動車は平成27年4月1日以後の新規登録車から新税率を適用。また、新規登録から13年を経過した軽自動車は平成28年4月1日より約20%の重課税を適用するもの。

軽自動車税の税率改正（抜粋）

車種区分（略称）			税率 現行	税率 改正後	重課税率
二輪	原　付	50cc以下	1,000円	2,000円	
		50cc超～90cc以下	1,200円	2,000円	
		軽二輪	2,400円	3,600円	
小型特殊		農耕用	1,600円	2,400円	
		その他	4,700円	5,900円	
四輪	乗　用	営業用	5,500円	6,900円	8,200円
		自家用	7,200円	10,800円	12,900円
	貨物用	営業用	3,000円	3,800円	4,500円
		自家用	4,000円	5,000円	6,000円

法人町民税（法人税割）の税率改正　平成26年10月１日施行

新税率は平成26年10月1日以降に開始する事業年度から適用

現行	改正後
税率14.7%	税率12.1%

決　算　認　定

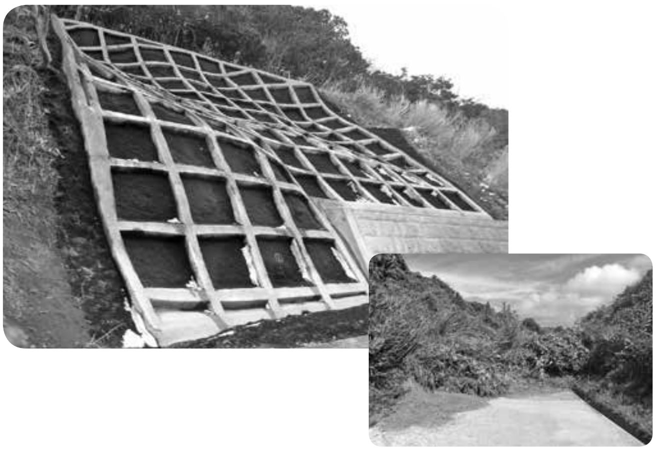
万円　総額 57億7572万円（前年比 1億2872万円増）
万円　総額 55億3836万円（前年比 1億4830万円増）

注目された事業・重点事業は

一般会計
除雪機械　2202万円

11トン級ロータリー

一般会計
25年災道路災害復旧工事 3915万円



復旧工事：町道上中条久田線（上中条地内）

一般会計
観光用公衆便所設置工事 2138万円

良寛記念館前

一般会計
防災行政無線施設整備工事 9813万円

デジタル無線受信装置（最終年度分）

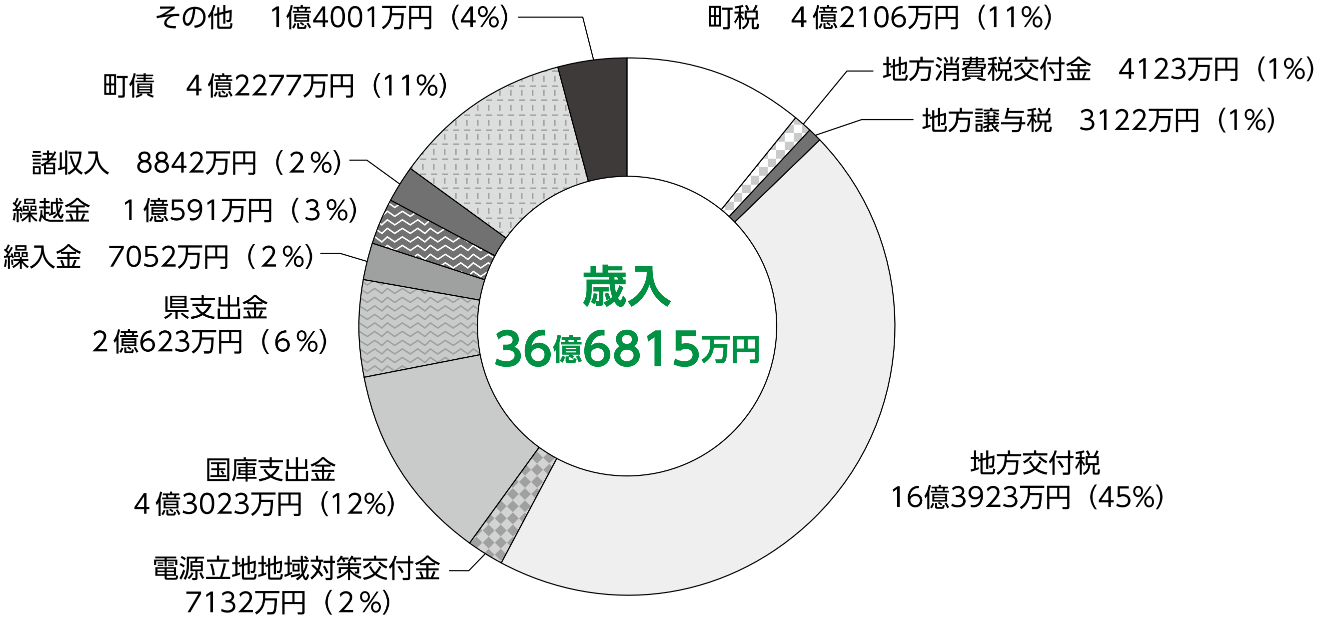
平　成　25　年　度

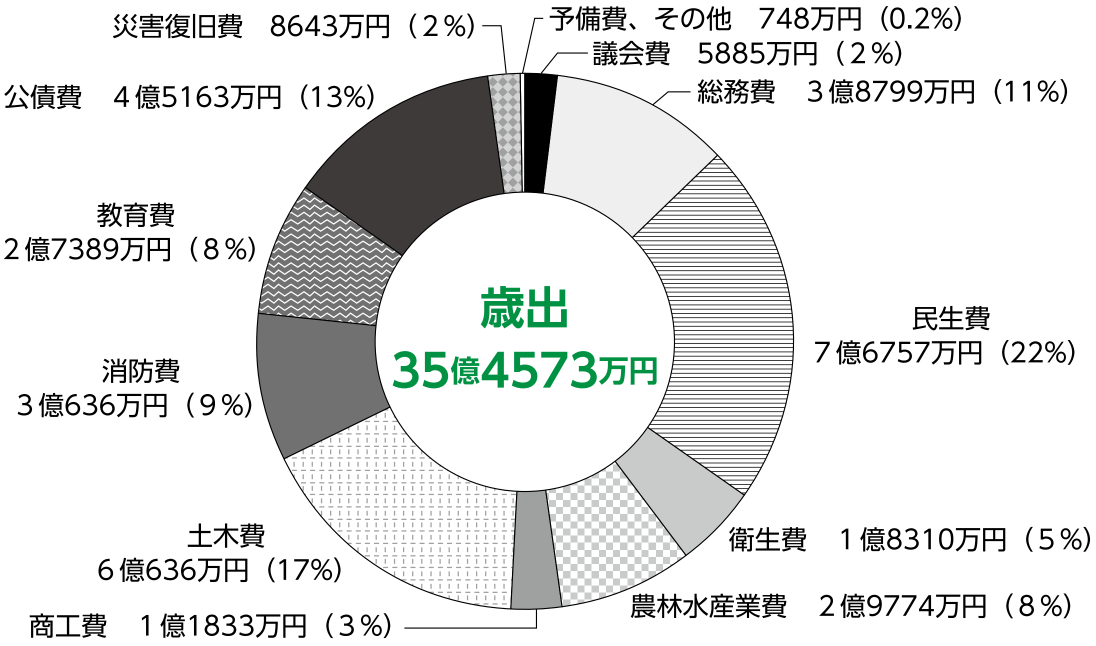
一般会計並びに**８特別会計**の決算は

歳入　一般会計　36億6815万円　　特別会計　21億　757

歳出　一般会計　35億4573万円　　特別会計　19億9263

一般会計決算の状況





決算審査特別委員会

平成25年度一般会計及び特別会計決算は決算審査特別委員会に付託して審査しました。委員会での主な意見を掲載します。

仙海 直樹 委員長

- 町のイベントを見直し、交流人口の増加を図るよう求める。
- 今後もCKD等慢性疾患患者の増加防止と改善を図るよう求める。
- 引き続き、橋りょう等インフラの維持管理の徹底を求める。
- ごみの分別の更なる徹底により、処理費の低減を図るよう求める。
- 各種予防接種、検診の受診率の向上を求める。
- 路線バスの今後有効な対策を考えていくよう求める。
- 自主防災組織や消防団の体制維持を図るよう求める。
- 出雲崎小、中学校のホームページについて、適宜更新されるよう求める。
- 良寛記念館の入館者数増加のため対策を講じられることを求める。
- 補助金や助成金については町民の税金であるとの意識を強く持ち行使されることを求める。

9月定例会

陳情

陳情第6号

学費と教育条件の公私間格差是正にむけ、私立高等学校への私学助成の増額・拡充を求める意見書の採択に関する陳情

全会一致で採択に決定

可決した意見書

発議第3号

学費と教育条件の公私間格差是正にむけ、私学助成の増額・拡充を求める意見書

提出先

内閣総理大臣、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣、衆議院議長、参議院議長

新潟県知事

人事案件

平成26年10月4日から3年間

固定資産評価審査委員の任命に同意

中野 正和さん（大門）

小黒 重幸さん（久田）

ここが聞きたい!!

予算審査特別委員会

平成26年度一般会計及び特別会計補正予算は予算審査特別委員会に付託し審査しました。委員会での主な質疑内容を掲載します。

小学校体育館床張替工事実施設計業務委託料　128万円

諸橋議員　体育館床の張替えはどのくらい掛かるのか。

教育課長　来年度実施の体育館照明落下防止工事に伴い、設計上、天井を剥がさなければなりません。全面足場にするため、現在の床では老朽化が進んでいて、その重さに床が耐えられないため、高額になる見込みです。

中川議員　工事期間はどのくらいか。財源はどうするのか。

教育課長　期間は最短で3ヶ月位です。

総務課長　財源は電源の交付金等を充てられるか、今後検討します。

髙桑議員　体育館が使用できない間、授業はどのようにするのか。

教育課長　夏休み中に工事を行い、授業等はグラウンドや町民体育館を使用します。

部分補修した床（出雲崎小）

放課後児童健全育成事業補助金減　137万円減

田中議員　当初予算が全額減額されているが理由は。

保健福祉課長　児童クラブの利用人数が20人の基準に満たないため、県の補助金を受ける事ができませんでした。

中川議員　対象年齢の引き上げを検討すべきではないか。

保健福祉課長　町の子ども子育て会議で現在検討を行っています。

車輪取外し型車椅子購入費　115万円

加藤議員　町の購入だが、今後、台数を増やしていくか。

保健福祉課長　価格が通常の車椅子の5~7倍するために町が購入し貸し出します。介護をする方、される方、双方の負担軽減にはつながりますが、今後は使用者で検討していただきたいと思います。

出雲崎宝もの新発見事業アドバイザー謝礼追加　139万円

中野議員　謝礼の内容は。

教育課長　寺社に係るもので56件を詳しく調べるためのものです。アドバイザー1人分と助手3人分の予算です。

妻入り家屋改修工事費　203万円

三輪議員　海岸地区には他にも妻入り家屋があるが、町としての改修・保存の考えは。また、寄付があった場合はどうか。

町長　個人のものには手を加える事はありません。寄付も目的も無く受ける事はありませんが、由緒あるものは検討しなければならないと思います。

津　又　邸

全員協議会

主な質疑について報告いたします。

第6回　7月29日

◎婚活サポート事業について

総務課長　今年度は、10月18日土曜日に、長岡市内で実施します。

昨年の反省を踏まえ、男性の年齢層は35歳までと45歳までの2グループで行います。希望者全員での二次会を設定いたします。これから広く周知、PRをしていく予定です。

仙海議員　二次会を希望者全員参加とするのは大変良いと思います。年間を通して5回同じメンバーで行うところもあり、成功する可能性が高まるように工夫してください。

◎旧津又邸活用整備について

教育課長　平成23年度に前所有者の方からご寄付いただいたものですが、調査のところ、築100年以上で町屋として大変価値があるものではないかと報告がありました。今後は宝もの新発見事業の資料展示や町民ギャラリー、サロン等様々な活用方法が考えられますが、シロアリの駆除と床等の改修は早急に対応しなければなりません。今後検討して提案していきます。

宮下議員　サロンやギャラリーというと、海岸地区には似たような構想を持つところが既に存在しております。出雲崎独特の妻入り住宅として価値のあるものであるならば、ぜひ古民家的要素を全面に出して活用を考えていただきたいと思います。

第7回　8月21日

◎観光用パンフレットについて

髙桑議員　県内の町村では、観光用パンフレットに地域住民を登場させるなど、新しい手法がみられます。出雲崎町も斬新なアイディアで作成されるよう検討してください。

観光パンフレット

◎町ホームページのリニューアルについて

総務課長　出雲崎町ホームページのリニューアルを予定しています。総務省の基準に準拠して障がいのある方たちにも優しく、きれいな出雲崎を提供できるものにしたいと考えます。

これから内容を検討して平成27年4月から運用を開始したいと思います。

◎子育て支援型町営集合住宅の全体事業費の変更について

建設課長　地盤改良と子育て支援の観点から仕様を変更したため、1610万円の事業費を増額変更させていただきます。なお、今後の募集要件、PR方法等については、行政事務推進委員会を立ち上げて検討して参ります。

三輪議員　メディアやホームページで早急にPR活動を始めてください。

建設課長　名称を決めて年内からPR活動を進めます。

◎海岸公民館図書館の利便性向上について

加藤議員　図書館にある検索機の動きが遅く、館内の配置図も変わっています。町民の皆さんが使いやすいよう、改善してください。

◎戦略的作物について

諸橋議員　米価の落ち込みにより、農業所得は厳しい状況にあります。戦略的作物のアスパラや大豆も思うような成果がないのが現状です。今後は所得向上のため、米作に代わる戦略的作物を行政としてもっと考えていただくべきと

思います。

町長　厳しい状況にあることは十分に受け止めなければなりません。戦略的作物については実践的に、やってみなければならないと思います。それに対しては、町としても十分に支援を考えていきます。

諸橋議員　例えばですが、出雲崎町の観光を考えた時に、西越地区の農業を組み込むことも一つの策です。様々な可能性を考えて検討いただきたいと思います。

◎旧書店跡地の活用について

中野議員　進行状況はどのようになっていますか。

産業観光課長　現在、設計を業者に委託しています。建物は年度内に完成したいと考えています。

町長　駅前のシンボルとして考えていますが、設計を見ていただき、意見をいただいたうえで進めたいと考えています。

第8回　9月12日

◎旧尼瀬グラウンドの自然エネルギー発電への土地利用について

総務課長　尼瀬に、新潟市の大倉産業から風力発電と太陽光発電を併用して建設したいとの申し込みがありました。町としては、遊休地の有効活用ということで、前向きに検討したいと考えます。

加藤議員　大変良いことです。このタイミングでヒラメ養殖場跡や管理が大変なゲートボール場も含めて考えていただきたいと思います。また、雇用が生まれる事が望ましいと思います。

旧尼瀬グラウンド

町長　あの一帯の景観が整うことになると、町としても養殖場跡を何とか解決したいと考えます。雇用についても申し入れをします。

宮下議員　養殖場跡はみんなが何とかしたいと考えていますが、今後、事業者責任をしっかり説明しながら、前例とならないように進めていただきたいと思います。

◎国土調査事業について

産業観光課長　国の要項等の創設により、事業実施が容易になったことから、平成27年度から事業に着手したいと考えます。事業費の負担割合は国が2分の1、県と町が4分の1ずつですが、交付税措置により町の負担は5％程度になる予定です。

　まず、沢田、大門地区から実施しますが、出雲崎全体が完了するまで50年程度かかることが予想されます。複数地区を同時に実施することで早期に進めたいと思います。

三輪議員　境界の分かる方が年々少なくなっており、なるべく早期に進めてください。

◎国道352号出雲崎拡幅の作業状況について

建設課長　平成26年度の県の新規事業として着手されました。計画の図面を起こすため、石井町から坂の上のカーブまで400メートル区間の測量を実施すると連絡がありました。地元の皆さまへは文書を配布し、関係するお宅には挨拶訪問で説明しながら進めて行きます。その後、計画をして説明会を実施いたします。

◎天領の里オープンデッキについて

産業観光課長　老朽化により立ち入り禁止としてきましたが、補助金の問題が解決し、解体が可能となりました。解体後の活用は、見ていただき、意見を聞いて検討をしていきたいと思います。

腐食したオープンデッキ

◎教育委員会制度の改正について

教育課長　国の法改正により、平成27年4月から教育委員会制度が変わります。教育委員長の任期満了後、教育長と教育委員長が一本化されることとなります。

一般質問

おたずねします　お答えします

住民向け防災情報メールは

町長　住民安全さんとうの利用を

仙海　直樹議員

質問　行政に自分のメールアドレスを登録することで、行政から防災情報や気象情報を携帯電話などに配信し住民避難の強化につなげるべきでは。

町長　配信にあたり、職員が複数対応することが懸念されます。

現在は、防災無線や緊急エリアメール、「住民安全さんとう」等により防災情報を提供しています。

質問　登録制ですと、情報が欲しい方は確実に受け取れる利点がありますが如何ですか。

町長　「住民安全さんとう」には、町の災害情報を配信していますが、前向きに検討します。

情報メール配信サービス

ドコモ用　　その他用

※登録は二次元バーコードを利用して空メールを送ってください。
運営：NPO法人住民安全ネットワークジャパン

出雲崎の災害情報を受け取れます

一口メモ

「住民安全さんとう」とはＮＰＯ法人住民安全ネットワークジャパンが運営する情報メール配信サービス

若者向け集合住宅は

質問　工事着工から完成までの工程は。

町長　９月15日過ぎから建物撤去等を始め、来年５月15日完成予定です。

質問　入居資格について伺います。

町長　現在、行政事務推進委員会を立ち上げ、三つの部会に分け検討を行っています。

私は、町外の方を中心に考えていますが、町内の方からも応募があれば柔軟に対応したいと考えます。

質問　今後、空き家住宅を若者向けに改修した場合、国が補助金を出すと報じられていますが、進めて行くべきではないですか。

町長　国から具体的な内容が示されたら、前向きに検討します。

質問　入居者募集に際し、町ホームページを最大限に活用しＰＲすべきでは。

町長　ホームページは最大限に有効活用します。

広告にもＱＲコードを掲載し、子育てにやさしいところを女性にＰＲします。

質問　農林漁業を行い当町に定住する意思がある方が応募した場合、行政として支援すべきではないですか。

町長　国・県の制度を活用しながら、町も全力で対応します。

一般質問

グリーンツーリズムの支援・施策について

町長 実行委員会の皆さまに敬意を払い、協力をお願いする

中野　勝正議員

事務所の設置は

質問 駅前地区に情報発信及び町民の皆さんが気軽に立ち寄れる施設を建設しますが、そこにグリーンツーリズムの事務所の設置は考えられませんか。

町長 今のところは考えていません。違う場所であれば相談にのります。

農家民泊の募集は

質問 農林漁業体験民泊とは、都会に暮らす人々が、農村漁村の仕事や生活などを体験することで、地元の人々や農村文化に触れ合うことができる宿泊施設です。町として、農家民泊を募集する考えはありませんか。

町長 農家民泊を町として募集する考えはありません。ただし農家民泊をやりたいという人には応援をします。

一部補助は

質問 農家民泊用に改築した場合、町として改築費の一部補助は考えられないでしょうか。

町長 継続性があれば考えたいと思います。

オーナー制度を

質問 農地の貸付条件は町で決めて、田植えと稲刈りはご自分の手で作業してもらい、田舎の暮らしも体験していただくオーナー制度を町として考えられないでしょうか。

町長 町としては難しい。

協力隊の募集を

質問 町として、グリーンツーリズムの協力隊の募集を考えられないでしょうか。

町長 どのように協力してもらうのか、詳しくわからないので、募集は考えにくいです。町として協力できることはやりたいと考えます。

また、児童の農村漁村交流、学校教育などにおける体験教育については、町として取り組みます。

グリーンツーリズムの実行委員会の皆さまには、敬意を払いたいし、協力をお願いをします。

グリーンツーリズム取り組みの研修（小千谷市若栃地区）

一般質問

小木ノ城中継所跡地活用を

町長　提案があったら考える

三輪　正議員

NTTより話は

質問　小木ノ城は町のシンボルとして校歌にも歌われ、中越地方の拠点の跡として重要視されてきました。昭和30年には電電公社（現NTT）の無線中継所が城の本丸、二の丸跡に建設されました。業務を数年前に停止し、現在は建物は取り壊され、更地となっております。

8月上旬、小木ノ城史跡保存会のメンバーが草刈り活動中に売地の看板を確認され、大変危機感を持たれたと聞いております。この跡地について何点か伺います。

中継所建設の経過と停止後、NTTより跡地についての話はなかったか伺います。

町長　建設の経過は質問と同じであり、跡地についてNTTよりまったく聞いていません。

売却について

質問　本丸、二の丸跡の土地が売却されることをどう考えますか。

町長　土地は転売されており、商取引についてはコメントする話ではありません。

本丸、二の丸跡

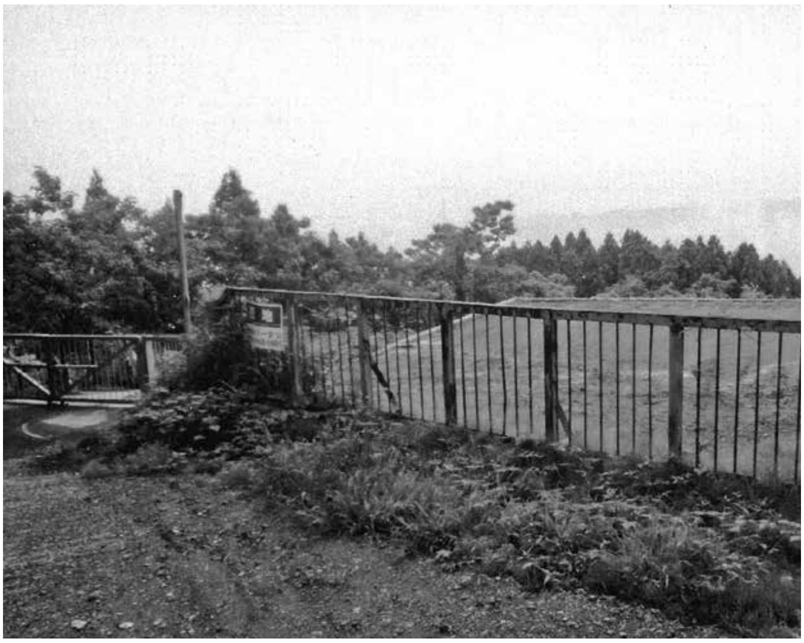
質問　跡地は大変眺望が良く、長岡方面も一望できます。本丸、二の丸跡は町の貴重な財産です。他への売却を防止し取得すべきと考えますが。

民間の活力も考える

町長　保存会の活動には敬意を表したい。城跡は昭和49年、町の文化財第1号に指定されています。跡地は広く、眺望が限られています。土地の取得については費用対効果と目的がはっきりしないと難しい状況です。

土地を購入された方が有効利用され、観光などプラスになる期待もあり、民間の力を活用します。土地の利用について行政はあまり干渉できません。

皆さんから跡地活用を真剣に考えていただき、良い提案であれば町としても前向きに検討していきたいと考えます。



売りに出された本丸、二の丸跡

追跡［第２回］

あの質問はその後どうなった

議員が行なった質問の一部を取り上げ、その後の経過を追跡しました。

平成26年３月 全員協議会

質問 ピンクの生ごみ回収袋の極小は５ℓですが、世帯人数の少ない家庭には大きすぎるので、もっと小さい袋を検討すべきでは。

町民課長 長岡市では昨年９月から２ℓ超極小サイズを販売しています。長岡市の状況を見ながら、サイズなど検討を重ねてから販売の予定です。

結果

平成26年８月１日から超極小サイズ２ℓの生ゴミ回収袋を販売開始しました。

・販売価格は10枚入り20円

議会報の研修会を実施

８月21日、刈羽村広報特別委員会と「議会だより」作成について合同研修会を実施いたしました。

他町村との研修会は初めてでしたが、日頃の広報づくりでの苦労や改善について、活発な意見交換が行われました。

今後とも町民の皆さんから、より読んでいただける「議会だより」を目指してまいります。

議会のうごき（主なもの）

（平成26年７月～９月）

- 7・1 議会報特別委員会（議会だより第84号）
- 8 議会報特別委員会（議会だより第84号）
- 11 議会報特別委員会（議会だより第84号）
- 23 議会広報研修会（新潟市）
- 24 議会運営委員会
- 29 第４回臨時会
- 第６回全員協議会
- 8・19 鳥取県日吉津村議会行政視察受け入れ
- 21 第７回全員協議会
- 出雲崎町・刈羽村合同広報研修会
- 28 議会運営委員会
- 29 町村議会議員研修会（新潟市）
- 出雲崎町・刈羽村議会議員懇談会
- 9・8 議会運営委員会
- ９月定例会招集日
- 予算審査特別委員会
- 社会産業常任委員会
- 総務文教常任委員会
- 9・9 ９月定例会２日目（一般質問）
- 議会報特別委員会（議会だより第85号）
- 10 決算審査特別委員会
- 12 議会運営委員会
- ９月定例会最終日
- 24 議会報特別委員会（議会だより第85号）
- 29 議長会議（関川村）

町民の声

子どもたちの笑顔

小木　竹村　龍彦

元気な笑顔を守りたい

毎朝、通勤途中に近所の小学生の通学の列に会います。車窓から『おはよう』と声をかけると、ニッコリ笑って『おはようございます』と元気に手を振って答えてくれます。

子どもたちの笑顔はいいですね～。癒されますし、元気をもらえます。ただ、町の人口が減少していく中、近所では子どもたちの声があまり聞こえなくなって、少しさみしい気持ちにもなります。人口の減少は、いろいろな要因がありすぎて、なかなか解決できる問題ではありませんが、少しでも多くの子どもたちが、将来この出雲崎に残ってくれればと願っています。

ところで最近、子どもが誘拐されて命を奪われる事件や、危険運転などにより命を奪われる事故が多発しています。出雲崎でこの様な、痛ましい事件・事故が起きない事を願うばかりです。夕方の予防広報も少しマンネリ化して聞こえてきますが、いま一度、子どもたちの安全の為に、住民の皆さんと一緒に、目配り気配りをしていきたいと思います。

表紙の小話

稲刈りが終わりました。

昨年の米が残っていても（ほとんど毎年そうですが）、一度は新米を炊いてお仏壇に供えます。炊きたてのつやつやとふっくらした新米をいただく食卓は、みんなが笑顔で幸せを感じますよね。

出雲崎小学校の５年生は、総合の学習で稲刈りを体験しました。秋雨で一度は延期になりましたが、この日は晴れました。

刈った稲を束ねる「稲まるけ」はなかなか難しいものですが、教えてもらってチャレンジする児童も。ぬかるんだ田んぼで上から下まで泥だらけでしたが、みんな一生懸命でいい顔をしていました。

今年もみんなで「実りの秋」に感謝です。

（髙桑佳子）

編集後記

８月に、県内町村議会広報を担当する議員の研修会が行われました。他町村の「議会だより」作成の工夫や課題等を聞き、皆さんに読んでもらえる広報作りのポイントを勉強してきました。

私たちも、皆さんにこの「議会だより」をとにかくお読みいただき、議会の活動を知っていただくことを第一に考えています。

町民の皆さんから感想やご意見をいただくこと、これは本当にうれしいことです！時には厳しいご指摘をいただくこともありますが、その全てが私たちのより充実した広報を作る力になってまいります。

ぜひ、お読みいただいたご感想やご意見をお寄せください。皆さんの声を、次に活かしていきたいと思います。

（髙桑佳子）